

Title	(随想)編集雑務所感
Author(s)	後藤, 薫
Citation	泌尿器科紀要 (1961), 7(5): 569-570
Issue Date	1961-05
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/112143">http://hdl.handle.net/2433/112143</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 7 卷 第 5 号

昭和 36 年 5 月

## 随 想

### 編 集 雑 務 所 感

京都大学医学部助教授 後 藤 薫

昭和30年4月に京都市に於て、開催されました第14回日本医学会総会を記念して、発刊をみました泌尿器科紀要は、本号を以て通算63号に達しました。ここ迄、当誌が発展して来ました事は会員諸氏の御支援によるものであり、創刊当初より編集業務にたづさわつております一員として厚く感謝するとともに、些かの所感を述べさせて頂き度いと思ひます

当誌発刊の趣旨としては、稲田教授が発刊の言葉として次の様に述べておられます。「現今の本邦泌尿器科学会を通観しますと、極めて貴重な研究が、日々多数に行われておるに拘らず、発表機関の余地が之に伴わず不足している様に見受けられます。この時に新しく専門雑誌が誕生するならば、新鮮な研究が速かに発表せられる事になり甚だ有意義であります」斯くの如き趣旨で発足しました当誌は、多くの会員の御賛同を得て、当初第1巻の年4回発行が、次年度（第2巻）には年6回となり、更にその翌年度（第3巻）よりは年12回の月刊誌と発展して参りました。その状況は別表に掲げました如く、本号迄の掲載論文数は519を数え、その御投稿を頂きました所属機関は殆んど本邦全部の医科大学、官公立病院に及んでおり、年次毎に頁数も増大しております。しかも現在なお、編集部には御投稿の論文27篇があり、7巻8、9号迄の掲載予定を決めております。

本誌を御購読して頂いている会員は、日本泌尿器科学会々員の大半を占め、又、本邦医科大学の全部及び附属研究機関等の多数に及んでおります。外国へは米国を始めとして、英国、ドイツ、イタリー、オーストラリア、フィンランド、ソ連、中国、台湾、韓国等の十数カ国に及んでおります。従つて、各論文には欧文抄録を附すように致しておりますが、これのみにては欧米の専門学者に論文内容を理解して頂くには不充分であり、会員の中からも欧文論文にして、これに邦文抄録を附すような形にされたらとの御意見もでており、それに就いても検討中であります。



編集業務の一端を申し上げますと、次の如くなります。御投稿論文を受取りますと、論文控帳には、原稿頁数、図版（凸版）数、写真版数、附表数等を記録し、印刷所へは論文の活字号数、ゴジック等を指示し、著者へは掲載予定号（発行予定月）を御返事申し上げております。特別掲載論文が輻輳して来て、掲載予定が御返事を上げました号より遅延して、御迷惑を御かけした著者の方々もあり、ここにお詫びします（その都度御連絡は申し上げておる筈ですが）。各号の稲田教授により編集が終了すると、発行予定月の1、2カ月前に原稿を印刷所へ廻します。印刷所にて組版が完了して校正刷ができ次第、校正の誤りを少くするため初校のみ著者へ送付しております。その上にて、編集部（教室員一同）にて三、四校まで校正しております。十分に注意して校正して頂いても、いざ雑誌が手元に届くと時に思わぬ誤植があつたりして、大変御迷惑をかけた著者もあり恐縮しております。つくづく校正のむづかしさと責任を身に感じます。

本誌及び別冊が著者の御手元に届いた時分に掲載料を計算して送付しております。掲載料は出来るだけ低廉な方がお互に望ましい次第ですが、本誌には特別の基金もなく、掲載料と会費を以て印刷所への支払いに当てておりますので、当誌運営の支障を来たさないように、出来るだけ早い目に御納金下さいますことを望んでおります。製薬会社等より広告料を頂いておりが、御覧の通り掲載広告も少く些少なものです。外国雑誌にみられる如く、多数の広告が集まれば、広告料も増大し、従つて掲載料も低額にできるということになれば望ましいのですが、現状では止むを得ません。テレビ、日刊新聞に医師の指示のみに御使用下さいとの不必要、不合理な薬品広告が、ほんとうに必要な我々の医学雑誌に広告されれば、大いに助かるのにといつも痛感しております。



池田首相の所得倍増のお声がかかりで、我々公務員のベースアップがあつて、やれやれと思つて喜んでおる束の間に、物価はそれ以上にどんどん上昇しております。これも所得倍増の一端かも知れませんが、私共には経済上の事はさつぱりわかりません。ただ、痛切に感じますのは、用紙代、印刷料の値上りです。これは本誌運営の重大問題です。いずれは誌代、掲載料の改正も止むを得ない状態です。会員諸氏の御了承を願います。(昭和36年5月20日)

掲載論文数(1巻-7巻5号)

御投稿者 所屬機関名	巻数・年号		1巻(昭30)	2巻(昭31)	3巻(昭32)	4巻(昭33)	5巻(昭34)	6巻(昭35)	7巻(昭36)	計
	号数	頁数	4号(283)	6号(398)	12号(662)	12号(726)	12号(1262)	12号(1256)	5号迄(634)	
北弘		大	2	1	2	3	1	2		6
千		大		1	3	2	1	2		5
慶		大		1		2	2	2		9
日		大						4		7
本	業	大							3	7
和	医	大		1	1	2	3			1
日	医	大				1				7
昭		大				3	8			1
東	邦	大						5	2	18
慈	浜	大		1	1			1		1
東	市	大	1	6	1			5	5	12
横	医	大			1					9
新	市	大			1					2
金	重	大			1					6
岐	市	大		1	1			1		2
名	重	大	1	2	3				1	4
三	医	大	25	19	44	29	44	31	7	199
京	医	大					1	1		2
関	医	大					1	1		3
阪	医	大			5	5	18	13	7	48
市	(外科)	大				2				2
大	医	大			3	2	1	11	1	18
阪	医	大		1	2		1	1	6	11
市	医	大				1	2	1		4
大	山	大		2	1	1	1	3	1	9
神	医	大			4	1	4	2	2	13
和		大			3	3	7	13	8	34
岡		大	3	1	1	1				6
広		大				1				2
徳		大				1	1			2
九		大	1	5	6	11	8	5		36
久		大	1		1		1	2		5
熊		大					1			1
鹿		大					1			1
大	通	大					6			7
阪	官	大	1		3	2	6		1	7
其	立	大					6		4	19
他	病	大						3		
計			35	42	83	78	121	109	51	519